



西区まるごと博物館推進会

西区まるごと博物館推進会 歴史部会の活動紹介

私たち歴史部会は、西区の宝の「歴史」に関する部分にスポットを当て、西区の宝を広く皆さんに知っていただくために、「歴史講座・史跡巡り」などの各種イベントを年間を通じて行っています。

📣 こんな活動もわたしたちの仕事です！



今回は、5月21日(日)に行われる「登山と北崎史跡巡り」の本番に備えて、北崎地区の蒙古山・妙見山とも登山ルートが整備されていないため、「登山ルートの安全確保と最終コース選定」のための下見登山の模様をご紹介します。

- ◆ 実施日 4月21日(金)
- ◆ 作業場所 福岡市西区北崎地区の「蒙古山・妙見山・同地区史跡」
- ◆ 作業の内容
 - ① ツアープランに基づき、実地検証による安全な登山ルートの確保及び整備
 - ② 北崎地区の史跡再確認
 - ③ コースの最終選定



「通行に危険な倒木等を除去しルートを確認するスタッフ」



「正面左「蒙古山」、右「妙見山」西ノ浦漁港より」

蒙古山

標高 158.5m。別名「ムクリ岳」ともいうようだ。「ムクリ」は口頭で伝承されてきた方言的な語彙(民族語彙)で、「蒙古」のこととか。鬼、または、恐ろしいもののたとえ。地元の言い伝えによると、この山に元寇の死者を葬ったとか、また元寇防塁の石を切り出したともいわれている。

本番当日が、“安全で楽しい登山・史跡巡り”でありますように！そう、願いながら、けもの道に分け入り「障害物、危険物」を除去しながらルートを作り、スタッフは蒙古山、妙見山をめざします。



もっと、しっかり持たんかい、下がったら切れんやんか！作業も真剣

登山者が道に迷わないように、手製のかまぼこ板「道標」の取付作業



あんたら、朝から騒々しい何してんねん？おかげで目が覚めたやないけ！あ、すいません～(初夏の陽気にひょっこりカエルが顔を出した)



蒙古山と妙見山の「T字分岐点」。方向を間違えないように造林地看板の下に「マーク表示」(よくはないが、安全のためにやむなく矢印記入)



「みずみずしいタラの新芽」
うまそう～！

蒙古山山頂の「元寇記念碑」
「2005年3月の西方沖地震で倒壊し、無残な姿を残す」
動かそうと試みたが重たくて人力では無理だった





記念碑周辺に生い茂った竹笹等の伐採作業



国土地理院の三角点



ひっそりと咲く「筆りんどう」
その可憐な姿にしばし見とれて…



かあちゃんの弁当はうまかあ～！
ええなあ、オレはコンビニのおにぎりや
ひと作業終え、愛妻弁当に舌鼓を打つ

妙見山

妙見山は標高 151m。「妙見」は北辰(北極星)に通じ北辰妙見信仰との関連があるという。山頂にはパゴダ(仏舎利塔)があり、昭和37年に日露戦争の「日本海海戦」の供養塔として地元の人々の協力により建設された。



道標の取り付け

登山ルートを確認しながら山頂へ！



山頂にあるパゴダ

Before



放置され、蔦に絡まり雑草が生茂った
「日露戦争戦勝記念碑」



草取りなど大掃除



After キレイになりました



(下山) おーい、下りは滑りやすいから気をつけろ！
緊張したリーダーの声が飛ぶ（落ち葉が積り滑りやすい）

白木神社 & 光明寺

白木神社 祭祀神は五十猛命。西ノ浦の「産土神」
として祀られている。元は、妙見山の頂上にあった
ものを昭和 36 年にこの地に移したとか。



こらっ、神さんに尻向けたら
バチが当たるで！



「最終コース選定協議」



光明寺(小田観音堂) 726 年に聖武
天皇の勅願寺として建立された。本尊
の「千手観音(小田観音)」は、清賀上
人の作で、福岡三観音(千如寺大悲
王院の雷山観音、正覚寺の油山観
音)の一つと伝えられる。



これこれテントウムシさん、あんたそこで何してはるの？
足が痛うて休んでんねん。ちょうどええわ、その葉食べな
はれ、すぐに治るで！「イタドリ(痛取)」やさかいな(笑)

📖 ちょっとトリビア

- ・三角点とは：地図を作成するために測量する重要な基準点
- ・「産土神」と「氏神」様の違い：産土神(うぶすながみ)は、その土地に生育する作物、植物、河川、その他の自然物をはじめ、その土地に住む人間の生活全般に密接に関わる働きをしておられるのが産土神。
- 氏神(うじがみ)様とは、氏一族があつて、その一族を守護する神のこと。

西区まると博物館推進会 歴史部会
〒819-8501 福岡市西区内浜 1 丁目 4-1
(西区役所企画振興課) TEL 092-895-7032
(文・写真：岩田)